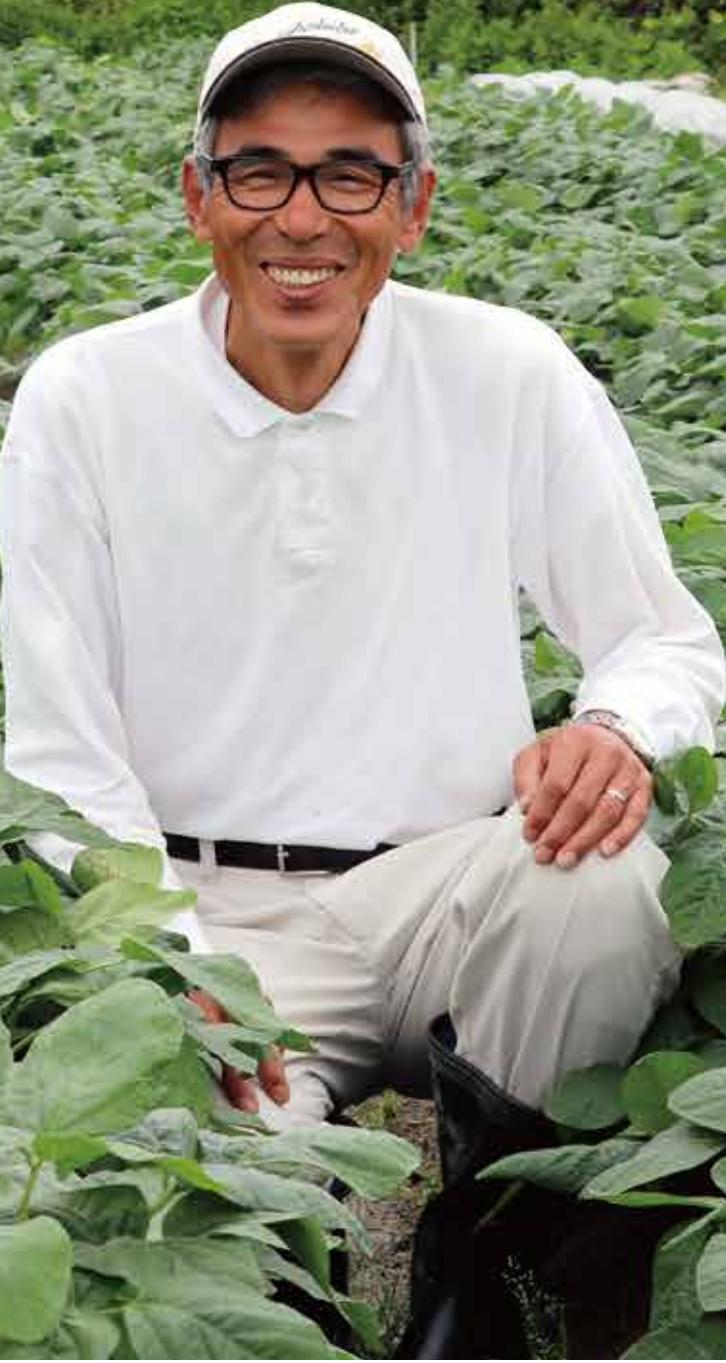


池田市の南部に位置する 神田地区で代々受け継ぐ 都市近郊農業に 取り組んでいます。



主に、小松菜・みず菜・ほうれん草などの葉物野菜を栽培しているほか、なすび、えだまめ、キャベツ、ブロッコリー、レタス等の輪作体系に取り組んでいます。

卸売市場に近いという立地を活かして、池田市生産者組合員と共に、「新鮮で安全・安心な野菜づくり」に取り組んでいます。

農産物直売所では採れたてをお客様に提供できるため、葉物野菜など鮮度が重要な野菜を出荷しています。

こだわり野菜を作る!

量販店の価格低迷が続いている中で、育てる楽しみに加えて、報われる魅力を実感できる野菜を作つてみたいと思い、価格競争だけでなく付加価値を持つた野菜を栽培しています。納得の出来る美味しい野菜をお届けしたいと思い、品種選定にはとてもこだわっています。

たとえばキャベツは、外見では判別できなくても、甘みを感じやすく食味にすぐれ、大玉出荷で差別化も図れる品種を採用しています。特に冬のキャベツは寒さから身を守るために、メロン並みの糖度になると言われる美味しいキャベツを栽培しています。ぜひ愛情をかけてこだわった野菜を食べてもらいたいです。

綺麗な野菜を作るがモットー

野菜の見た目にはこだわっています。やはり、虫食いなどの納得出来ない商品は出荷しません。野菜の袋詰めなどの包装も家族と一緒に丁寧に行なうようにしています。



整理整頓された納屋の中には
ツバメが巣を作り、
多くのヒナが育っていました。
(取材当日：平成30年6月中旬)

細井 弘之さん

失敗から学んだ。

平成28年に勤めていた池田市役所を早期退職し、農業を本格的に初めて2年。最初は何度も失敗をしました。母親や池田市生産者組合に所属している他の組合員の方に丁寧に教えて頂いたこともあり、現在の農業に繋がっているので、とても感謝しています。

今では、野菜の状態や天候等の情報を常に確認しないと、夜も安心して眠れないとですね。

父の残した物を守る。

父親は多くの品評会にて賞を受賞していました。父が受賞したトロフィーや賞状を見ると、私も父親に近づきたいと思いませんね。

今は、父親が残してくれたものを守りながら、農業を行っています。特に、成長すると約6kg、株の太さ直径25cm、高さ50cmになるととても大きなみず菜を毎年育てています。

しかし今では、どこの種苗会社も納得のいく種を販売しておらず、入手困難になってしましました。その為、そのみず菜の種を自家採取にて守っています。

夢は「おねば」の復活

おねばとは昔に池田でよく栽培されていたカイワレに似た野菜です。土で育てる為、軸も太く、今までに食べた野菜の中でも一番美味しかった野菜でした。今では種もなく栽培できないですが、あの味を復活させたいですね。



食と農 繋げるかけ橋へ 農産物直売所